

日本カトリック司教協議会

「すべてのいのちを守るための月間」設置について

I. 趣旨と目的

日本の司教団は、日本訪問で教皇フランシスコが発信されたメッセージに応えるため、毎年9月1日～10月4日の1カ月余りを「すべてのいのちを守るための月間」とすることとしました¹。すべてのいのちを守るためには、ライフスタイルと日々の行動の変革が重要であることはいうまでもありませんが、とくにこの月間に、日本の教会全体で、すべてのいのちを守るという意識と自覚を深め、地域社会の人々、とくに若者たちとともに、それを具体的な行動に移す努力をしたいと思えます²。

教皇フランシスコが回勅『ラウダート・シ』（2015年）で述べているように、わたしたちは環境問題を、社会、経済、人権問題などに関連づけて、総合的なエコロジーという観点から理解しなければなりません。地球の自然環境はとくに20世紀半ば以降悪化の一途をたどり、ますます深刻化しています。地球温暖化と気候変動、水資源の危機と食糧問題、人口問題と貧困、森林破壊と砂漠化、エネルギー問題、ごみ問題、生物多様性の危機などの諸問題が人類に突きつけられています。

しかも、これらの問題のほとんどは、各種産業や個々人の生活など、人間活動の結果生じていると指摘されています。したがって、わたしたちは自らの手で悪化した環境を回復していかなければなりません。今すぐ適切な対処をしなければ取り返しがつかなくなる、そう専門家は警告しています。

そこで、教皇フランシスコが強調しているように、まず個人にも共同体にも「エコロジカルな回心」が必要です。すなわち、「世界は愛のこもった神の贈り物であるということ」と、「わたしたちは……万物のすばらしい交わりである宇宙の中で、他のものとともにはぐくまれるのだということ、愛をもって自覚」（220）し、「行いや怠りによって神のものである被造界を傷つけてきたことを認め」（218、オーストラリア司教団）、環境問題をあえて自分自身の個人的な苦しみとし、一人ひとりがそれについてできることを見つけ出すことが必要です（19参照）。こうして、「イエス・キリストとの出会いがもたらすものを周りの世界とのかかわりの中であかし」（217）するのです。

II. 期間：2020年9月から実施

毎年9月1日～10月4日（アシジの聖フランシスコの記念日）

Ⅲ. 具体的な取り組み

1. 毎年9月第一日曜日（被造物を大切にすゝる世界祈願日）に、全国で一斉に祈り、各共同体単位で具体的な行動を起こす。
2. 期間中、「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」（2020年5月8日 日本カトリック司教協議会認可）を唱える。
3. 地球環境の実態について学習し、エコロジー教育を推進する。
4. 行政、自治体、環境保護団体などと連携して活動する。

上記について、今必要な行動・活動例

- ① 資源の消費・浪費・廃棄量の削減（水・電気・食料など）
- ② 化学物質を含む洗剤やプラスチック製品など、環境汚染物質の不使用、使用量の削減
- ③ 美化活動（海浜、里地里山、街中など、身近な場所でのゴミ拾い・清掃）

2020年5月9日

日本カトリック司教協議会

¹ すでに正教会は、コンスタンティノーブル全地総主教ディミトリオス1世のイニシアティブにより、1989年から9月1日を「被造物のために祈る日」とし、2007年以後、キリスト教諸教会・共同体は9月1日～10月4日を「被造物保護期間」として守るようになりました。教皇フランシスコは、2015年8月6日の書簡で、カトリック教会もこのエキュメニカルな動きに合流し、同年から9月1日を「被造物を大切にすゝる世界祈願日」に定めることを表明しました。日本の教会では、翌年から9月の第一日曜日を「被造物を大切にすゝる世界祈願日」としました。また教皇は、2019年の同祈願日のメッセージで、9月1日～10月4日の「被造物の時節（Season of Creation/ Tempo del creato）」を祈りと行動の機会とするよう「強く勧め」ています。

² 国連は1972年の総会で6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では1991年度から6月の1カ月間が「環境月間」とされています。世界的にはグレタ・トゥンベリさんに共鳴した多くの若者たちが地球環境を守ろうと立ち上がっていますが、次世代を担う人々に関心をもってもらふことは重要な課題です。

すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り

宇宙万物の造り主である神よ、
あなたはお造りになったすべてのものを
ご自分の優しさで包んでくださいます。

わたしたちが傷つけてしまった地球と、
この世界で見捨てられ、忘れ去られた人々の叫びに
気づくことができるよう、
一人ひとりの心を照らしてください。

無関心を遠ざけ、
貧しい人や弱い人を支え、
ともに暮らす家である地球を大切にできるよう、
わたしたちの役割を示してください。

すべてのいのちを守るため、
よりよい未来をひらくために、
聖霊の力と光でわたしたちをとらえ、
あなたの愛の道具として遣わしてください。

すべての被造物とともに
あなたを賛美することができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(2020年5月8日 日本カトリック司教協議会認可)

すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り

宇宙万物の造り主である神よ、

あなたはお造りになったすべてのものを
ご自分の優しさで包んでくださいます。

わたしたちが傷つけてしまった地球と、

この世界で見捨てられ、忘れ去られた人々の叫びに
気づくことができるよう、

一人ひとりの心を照らしてください。

無関心を遠ざけ、

貧しい人や弱い人を支え、

ともに暮らす家である地球を大切にできるよう、

わたしたちの役割を示してください。

すべてのいのちを守るため、

よりよい未来をひらくために、

聖霊の力と光でわたしたちをとらえ、
あなたの愛の道具として遣わしてください。

すべての被造物とともに

あなたを賛美することができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。